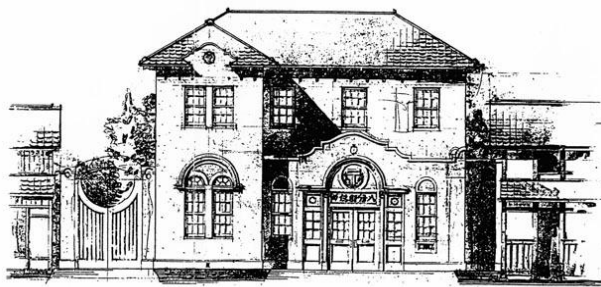


平成28年度 年次総会 充実した気分で終える 近江八幡に「ヴォーリス」建築探訪と酒蔵での懇親

去る11月13日(日) 昼過ぎ、近江八幡の近江兄弟社学園内にあるハイド記念館で、本年度の年次総会行事が始まりました。まず、会場となったハイド記念館の館長から、歓迎のことばとヴォーリス縁の地であることの説明をうけました。今年の総会は、明治以降、近江八幡をはじめ、日本に多くの著名な建築物を残したウィリアム・ムル・ヴォーリスの地元建築遺産探訪から始まりました。これは、今年の企画事業活動として本城顧問他関係者のご尽力で実現したものです。旧近江八幡郵便局、ヴォーリス記念館、池田町洋館街、最後にハイド記念館を見学して回り、全国ヴォーリス建築ネットワーク代表幹事でもある本城顧問らによる軽妙な語り口で説明をうけました。



旧近江八幡郵便局

その後、その大会議室にて、本年度の総会を開催しました。支部長のあいさつの後、来賓として参加いただいたKIT同窓会の山崎会長から、同窓会活動は、いま、新たな展開を迎えつつある。それには、多くの同窓の協力を必要としているという同窓会活動の現状説明を兼ねたあいさつをいただきました。そして、昨年の設立総会以降の活動を支部長から説明、数回もの理事会を開催でき、広報紙も発行、この総会開催にいたったと、充実した活動であったと総括。会計報告の後、次年度も同様の活動をしていくことに、全員の拍手で承認され総会を終えました。

その後、少しはなれた「酒遊館」という酒蔵跡の瀟洒な会場で、懇親会が開催されました。そこでは、森本副学長から大学の近況説明があり、活躍する在校生や大学の社会的評価が上がりつつあることが報告されました。

また、近江八幡在住とのことで参加いただいた大学教員の木村先生からも、地元に関する多くのお話をいただきました。また、昨年同様、佐藤敏夫さんからは詩吟披露があり、井上良一さんからは、能楽にかける思いをのべていただきました。



総会：支部長あいさつ



山崎KIT同窓会会長あいさつ



KIT同窓会滋賀支部 年次総会 '16.11.13
 於：近江八幡市 近江兄弟社学園内ハイド館



森本副学長の大学近況説明

左：「酒遊館」にての懇親会風景

佐藤さんの詩吟

木村先生のあいさつ

学歌斉唱の後
 村田監事の締め
 で充実した懇親
 会は、次回開催
 を期して散会し
 ました。



母校「ホームシングデー（HCD）」での支部会員の活躍



さる11月19日(土)母校学園祭の一環としてなされたHCD行事に森橋さん(左)は「海外で働く」をテーマに講演、経験談を話された。また、井上さんは(右)能楽のすばらしさを展示、在學生に能楽部の復活を訴えられました。支部活動として応援したいですね。